

下関市立市民病院

所在 〒750-8520 山口県下関市向洋町1-13-1

下関医療圏の中心的役割を担い、「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、地域から信頼される中核病院の役割を果たしています。悪性疾患、救急医療、生活習慣病の診療を重点項目に掲げ、感染対策にも注力。地域の医療機関と連携を図り、多様なニーズに対応できる医療機能の充実も強化しています。

募集人数 **5名** 病床数 **382床**
(令和8年度 採用予定人数)

待遇 給与1年目: 530,000円/月 程度 当直手当含む
 給与2年目: 560,000円/月 程度 当直手当含む
 賞与2回(夏季・冬季)

研修プログラムの特徴

必修科の内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週、救急科12週(うち4週は麻酔科で研修、研修期間内の当直回数含む)、麻酔科を8週研修。地域医療は2年次に4週研修、残りの期間は選択科とし、研修医の希望も入れた研修計画を研修管理委員会で決定します。一般外来は内科・外科・地域医療の研修中に並行して研修を行います。救急当番日は副当直として月4回程度診察に従事します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 24週	麻 8週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週	救 4週
	内…内科、麻…麻酔科、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、救…救急科						
2 年 目	地 4週	1年次で修了しなかった必修科を行い、残りは選択科として自由に選ぶことができます。					
	地…地域医療						

関連病院 等

- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 済生会下関総合病院
- ・ 下関病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 済生会豊浦病院
- ・ 宇部協立病院

主な勉強会

救急に関する早期講義
 〈4月～5月下旬くらいまで〉、
 CPC〈年1回〉、BLS、ACLS、
 ICLSなど

プログラム [リウマチ膠原病内科]

責任者 大田 俊一郎 医師



当院の自慢は?

化学療法センター、透析センターを併設し多様なニーズに対応しています。また緩和ケア病棟では終末期医療を学ぶことができます。呼吸器腫瘍センター、脊椎・脊髄病センター、リウマチ・関節センターなどでは、診療科の垣根を越え総合的・専門的な診療を行っています。



研修内容のセールスポイント

少人数での指導で多くの手技・処置を経験できます。麻酔科研修、BLS・ACLSを修得することで、救急蘇生術を身につけます。また、研修医の希望を取り入れた勉強会を行っています。



どんな指導を心掛けていますか?

問診・診察・診断・治療における一連の論理的な思考はもちろんのこと、各検査の意図、結果の解釈など細かく指導を行います。また、医療技術だけではなく、医師として患者に向き合う姿勢など全人的に指導しています。



医学生へのメッセージ

まずは病院見学においてください。百聞は一見にしかず。当院の良さを分かっていたらと思います。

研修2年目[山口大学出身]

研修医 松島 諒典 医師



研修先病院として選んだ理由は?

内科を中心に多彩な診療科が揃っており、2年間の研修を通じて一般的な疾患から希少疾患まで、多岐にわたる疾患を経験できると思ったからです。また、2年次の選択期間が長く、自分のキャリアプランに合わせた研修ができるのも魅力でした。



この病院を選んでよかったことは?

研修医の人数が多すぎないため、きめ細かな指導を受けることができます。手技の機会も多く、着実に力をつけることができます。また、研修医の仲が良く症例検討もよく行います。



研修で最も身についたことは?

救急の初期対応は最も成長した部分だと思います。時間、場所、人的リソースが限られる救急当直では、日頃の学びを発揮できると共に実践で多くのことを学びました。



医学生へのメッセージ

解剖・生理を理解しておくこと必ず役に立つので、学生のうちに基礎医学を丁寧に復習することをお勧めします。また、たくさんの人と関わり、様々な経験を積むことは、勉強だけでは得られない重要なバックボーンになると思います。当院の研修に興味を持っていただけたらぜひ病院見学にお越しください。



お問い合わせ先

担当部署: 事務部 | 担当者: 濱崎・谷口 | 電話: 083-224-3850
 Eメール: kengaku@shimonosekicity-hosp.jp